

子ども食堂の持続可能性に関する研究
～社会企業により運営された施設を事例に～

1555321 高井里菜 指導教員 藤掛洋子

本研究は、筆者がソーシャルビジネスとして運営されていた子ども食堂Xの運営に半年間携わり、アクションリサーチを通して、子ども食堂の「利用者」の視点で子ども食堂の意義と可能性、また子ども食堂の「子どもの貧困対策」における有意性を明らかにするとともに、現在の子ども食堂の課題を抽出し、その課題を克服して活動がますます広がっていくための、持続可能な子ども食堂の運営形態を検討することを目的に行われた。

本研究を通して、子どもから大人まで多世代にとっての子ども食堂の意義と、子ども食堂がどのような地域社会を作りうるかという可能性、また子ども食堂の「子どもの貧困対策」としての有意性、そして持続可能な子ども食堂の運営に必要な運営形態の要素を明らかにすることができた。